

# 稲沢市観光協会ニュース

INAZAWA TOURISM ASSOCIATION NEWS



いなッピーバス (善光寺)にて



# いなっピーグッズの新商品紹介

Inazawa City mascot character goods



## いなっピーピンバッジ(美濃路)

価格〈1個〉**200円**

〔10月16日(土)から発売〕

販売  
場所

●アピタ稲沢店、ヨシツヤ新稲沢店・祖父江店・平和店、宝竹(稲沢市役所内・市民会館内)、稲沢市観光協会にて販売

## いなっピーバスにのって観光地を巡ろう!!を開催して

9月12日(日)に、いなっピーバス1日乗り放題で行いました。

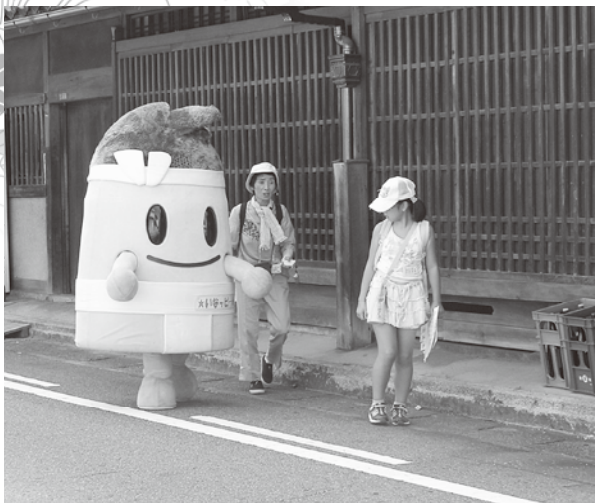
コースは、稲沢市役所→荻須記念美術館→国府宮駅→稲葉宿跡A→稲葉宿跡B→祖父江ふれあいの郷→刈萱堂→善光寺→地泉院→祖父江支所→森上駅→矢合観音→稲沢市役所を回るコースで1日に8便(1時間間隔)運行しました。

当日は猛暑にかかわらず52人の方が参加され、まず稲葉宿跡Aで降り「稲葉宿本陣跡」「稲葉宿の中間屋場跡」「津島道の道標」「禅源禅寺」を歩いて巡りました。次に祖父江ふれあいの郷では温泉に入りさっぱりしたところで、バスに乗り刈萱堂、善光寺や地泉院を拝観し、法話を聞きました。矢合観音では、だんごを食べながらの散策、ハギ寺と呼ばれる円光禅寺はハギ茶の接待もあり、赤や白の花のハギが咲き始め観光客の目を楽しませておりました。

また、それぞれのお店でちょっぴりプレゼントもあり参加者には喜んでいただきました。

さらにスタンプラリーも実施し、抽選でハッピーいなっピー賞に「ぎんなん1箱」、ラッキーいなっピー賞に「いなっピーピンバッジ」を各賞10名の方に贈りました。主要なバス停留所では、観光ボランティアの皆さんに観光地を案内していただき参加者の方に好評を得ておりました。

参加者からのアンケートを見ますと60歳台以上の方が82%で、市内の方が84.6%、「この企画をなんで知ったか」(複数回答)は市の広報が43.6%で、参加の理由については「稲沢をもっと知りたい」(複数回答)が71.8%、参加費(1,000円)については普通が74.4%、この企画の感想については57.4%が満足であったと回答されています。





## 稲沢あじさいまつり

6月1日(火)～20日(日)の期間に大塚性海寺歴史公園・性海寺で「稲沢あじさいまつり」が行われました。

メイン事業は12日(土)～13日(日)の両日に行われ、12,500人の方が訪れました。

会場ではアジサイ相談やウオッチング、特産品の販売、手作り体験コーナー等、また市民グループによる芸能発表や近くの保育園児による鼓笛隊の演奏のほか、歌謡ショーや和太鼓の演奏と盛りだくさんの催し物に、あじさい見物の人々も足をとめて見たり聞き入ったり、カメラのシャッターをしきりに切っている光景などが見うけられました。大塚性海寺歴史公園は名古屋近郊では花の名所として人気のスポットとなっております。



稲沢市観光協会では、12日(土)と13日(日)の両日、いなっピーグッズを観光ボランティアの皆さんに協力いただき販売するとともに、観光ガイドマップ、ガイドブック及びチラシによる観光PRを行いました。



## 稲沢夏まつり



稲沢夏まつりが7月25日(日)に行われました。今年の夏は35度以上の猛暑日が続き日差しが肌を刺すような暑さの中、大勢の方に参加いただきました。会場イベントでは、フリーマーケット、飲食コーナー、ゲームコーナー、ジャンボ金魚すくい、イルミネーションが行われました。また、ステージイベントでは、15周年記念イベントとして「みんなで大合唱!～十五の君へ～」をスタートにダンスコンテスト、市民ステージ、鳴子おどり、寺井尚子ジャズライブ、夜には盆踊りや仕掛け花火と盛りだくさんのイベントが行われました。



今年は、ゆるキャラ®ふれあい広場を開催し、「いなっピー」を始めとして近隣から「きよ丸、うるるん」(清須市)、藤花ちゃん(江南市)、ねぎっちょ(岐南町)、エッピー(愛知県下水道科学館)も参加し、子どもたちとふれあい、楽しい一時でした。

### Column

“秋の味覚”  
今が旬。

## 地産地消の おしゃれな料理教室

ギンナンやイチジクなど、稲沢市の特産品を生かした料理教室を9月29日(水)に下津市民センターで開催しました。

市内の女性20人が参加され、和やかな雰囲気の中、慣れた手つきで調理し、食事を味わってみました。

- メニューは
1. ポークソテー(季節のやさいを添えた)
  2. ほうれん草のポタージュ
  3. 根菜のサラダ
  4. 無花果のパイ



新しいイベントが盛りだくさんです。  
ぜひお出掛けください。



## 01 稲沢まつりに出かけよう

information

- 平成22年10月16日[土]～17日[日] 午前10:00～午後4:00
- 場所／国府宮神社参道一円、総合文化センター、稲沢中学校、稲沢市民会館等  
〔国府宮神社参道と市民会館間で無料シャトルバス運行〕

「2010稲沢まつり」が今年も盛大に開催されます。  
今年は「地域おこし・夢おこし」をテーマとして掲げ、ご当地の歌手による歌謡ショーを始め、ちびっ子から老若男女まで元気一杯楽しめるイベントを随所で開催します。

また、昨年好評だったレールが200メートルもあるミニSLやうなぎのつかみ取りもあって、楽しさ、面白さいっぱい稲沢まつりに是非お越しください。



### 10月16日[土]

- 【屋外ステージ】
- ・ご当地 演歌歌手ステージ
- ・井上あずみ ファミリーコンサート
- 【総合文化センター】
- ・学生オペレッタ公演
- 【市民会館】
- ・健やかワールドin稲沢
- 【消防本部】
- ・消防ひろば

### 10月17日[日]

- 【屋外ステージ】
- ・仮面ライダーオーズショー
- ・市民サークル発表会
- 【参道】
- ・園児鼓笛隊パレード
- 【市民会館】
- ・秋の芸術祭(芸能発表会)
- ・ミュージックフェスティバル秋の集い

### 両日開催

- 【参道】
- ・稲沢市商店街連合会抽選会
- ・植木・苗木即売会
- ・郡上八幡物産展
- ・稲沢市観光PR及びびいなッピーグッズの販売
- 【稲沢中学校】
- ・うなぎのつかみ取り(有料)
- ・ミニSL「Dream号」
- ・ふわふわランド
- ・クラウンパフォーマンスステージ

\*他にも様々な楽しいイベントが催されます。詳しくは、稲沢まつりのチラシをご覧ください。

## 02 第13回 そぶえイチョウ黄葉まつり

information

- 平成22年11月20日[土]～28日[日] 9日間
- ・祖父江町体育館会場／11月20日[土] 午前8:45～午後4:00
- ・山崎会場／11月20日[土]～28日[日] 午前9:00～午後3:00
- 場所／祖父江町体育館会場(祖父江町体育館及び周辺)  
山崎会場(祐専寺及び周辺)



### 祖父江町体育館会場

- 企業展、団体等による展示
- 警察音楽隊
- 和太鼓(響)
- もち投げ
- 杏和高校ブラスバンド部
- 天装戦隊ゴセイジャーショー
- お笑いライブ(グラップラーたかし)
- 歌謡ショー
- マグロの解体ショー&試食
- 動物ふれあい広場・ふわふわ、アニマルトレイン
- 団体による物産販売等・フリーマーケット

### 山崎会場

- 写真・俳句コンテスト・写生大会【開催期間中】
- 山崎銀杏林セラピーウォーキング【開催期間中】
- いちょうの木コースターづくり  
【11月20日[土]、21日[日]、23[火・祝]、27日[土]、28日[日]】
- こども楽市(ふるさと探偵団)  
【11月20日[土]、21日[日]、23[火・祝]、27日[土]、28日[日]】
- 抹茶コーナー【11月21日[日]、23日[火・祝]、27日[土]、28日[日]】
- 木曾馬とイチョウ散策【11月21日[日]、28日[日]】
- 似顔絵パフォーマンス(桜小路富士丸)【11月28日[日]】
- 消防はしご車試乗会【11月23日(火・祝)】
- 歌謡ショー【11月27日[土]】
- 人力車に乗って気分は黄葉!イチョウ散策ツアー【11月27日[土]】
- 和太鼓(響)【11月28日(日)】 ○いなッピーグッズの販売【11月28日(日)】
- 名鉄ハイキング【11月28日[日]】 ○そぶえ特産品販売等【開催期間中】



### いちょうの木ライトアップ

- 平成22年11月19日[金]～11月27日[土] 午後5:00～午後9:00
- 場所／山崎会場(祐専寺及び周辺)

ライトアップ  
点灯セレモニー

11月19日[金]  
午後5時30分～

\*他にも様々な楽しいイベントが催されます。詳しくは、そぶえイチョウ黄葉まつりのチラシをご覧ください。

# 03 第40回稲沢市消費生活展 ~主役はあなた! 行って、知って、楽しもう~

information

●平成22年10月30日[土] AM9:45~PM4:00・10月31日[日] AM10:00~PM3:00  
●場所/稲沢市勤労福祉会館

「環境」や「食品」、「耐震」など、日常生活に関わり合いの深い事項について、消費者団体などが分かりやすく展示・説明をします。降り込め詐欺の寸劇や犬山市国際交流員によるドイツのエコについてのお話など、大人から子どもまで楽しめます。詳しくは広報10月1日号をご欄ください。

**内容** ○各種啓発パネル展示○試食・試飲(早煮昆布、こだわりのパン、手作りお菓子、有機栽培米玄米など)○消費生活相談・住宅に関する相談○各種即売(観光協会による特産品、地場産の野菜、いなっピー銀杏カレー、金時粉末しょうがなど)○リサイクル市・フリーマーケット(10月31日・午前中のみ)○講習会(豆わらし、指編み、ポケットティッシュケース作り、アクリルタワシ作り、要申込)○体験コーナー(いなっピーのオリジナルコースター作り、2回折りの折紙教室、ストローハウス作りなど)○家具などのリユース○クイズラリー○飲食コーナーなど

【問合せ先】稲沢市商工観光課(TEL32-1111 内線272・273)



▲消費生活展



稲沢を通る街道

## 八神街道



八神街道は、現在の愛知県道67号線(名古屋・祖父江線)の前身で江戸時代初期に尾張藩所属の八神(現在は岐阜県羽島市桑原町八神)城主であった毛利氏が名古屋登城のルートとして開かれた道と言われています。

(毛利家は天文・永禄年間では織田信秀・信長に仕えていました。)

その道筋は八神から木曾川を船で対岸に渡り(八神の渡し)、愛知県の祖父江町(下沼、下祖父江、山崎、森上)から稲沢の村々(片原一色、矢合、北島、高重、増田等)を通り清州の村々を経て清州の美濃路との交差点に至るものです。

美濃路のような宿駅や松並木は無く、毛利氏の登城をはじめ、一般庶民や車馬に利用されていました。



街道にまつわる昔話

## 馬橋(おこりおとし橋) 現増田町内

むかし信長公、増田村でまつりがあると聞き、愛馬にてこの橋を通ったときに、どうしたことが、橋の上で馬が暴れだし、信長は振り落とされてしまいました。そしてその馬は何かにおびえるように逃げ帰ってしまいました。

信長は、この事を不思議に庄屋に尋ねると

「あのはしは、馬にたたっており、馬に乗って橋を渡るとおこりという恐ろしい病気になる、いままでもたくさんの御侍様が亡くなっている」とのこと。数日後信長は村の人々を思い、たくさんの豆を送りました。村人が、おこりという病気にかからず、マメに暮らささいと。

さっそく庄屋は村人をあつめ、橋にまめをお供えし、必死のおいのりをすると、おこりにかかっていたものも元気となり、それからは、馬に乗って橋を渡ってもおこりという病気にはかからなかったそうです。めでたし、めでたし。



次回は巡見街道を紹介します。

## 04 いなざわ美濃路まつりウォーキング大会

information

稲沢市観光協会では協会設立5周年を記念して、いなざわ美濃路まつりハイキング大会を開催します。

美濃路は東海道を宮の宿から分れ稲葉宿をとおり中山道の垂井宿を結び約57.5kmの脇街道ですが、江戸300年間には時の将軍、大名、琉球使節、朝鮮通信使、将軍への献上する茶釜や、ベトナムから来た象も通った道で、往来は賑わっていました。

昨年度、観光協会では、稲沢商工会議所の役員さんや美濃路沿道の商店さんの協力を得て美濃路ウォーキングマップを作成しました。

今年度は体験する年です。美濃路の歴史を感じさせる風情を楽しみながらウォークしてみませんか。

なお、このいなざわ美濃路まつりウォーキング大会は名鉄のハイキング事業にあわせ行い名鉄国府宮駅をスタートし名鉄大里駅までのコースとなります。

また、途中の長束梅公園では、稲沢市観光協会が美濃路まつりを開催し、地元稲沢の特産品を販売するとともに稲沢市の観光PRをまいります。

名鉄ハイキングに参加されない方は、長束梅公園で開催しています「美濃路まつり」に直接お出かけ下さい。

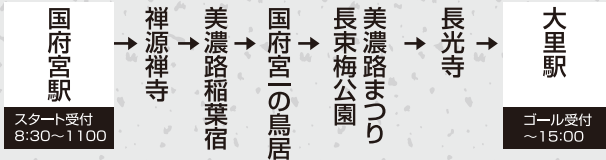


【とき】

平成22

11/14日

### 歴史探訪美濃路稲葉宿のコース (名鉄ハイキング) ■距離/約10km



## 名鉄のハイキング 電車沿線コース

### 11/28日 晩秋の一日 色鮮やかに輝く イチョウ黄葉まつりコース

■距離/約8.5km ■交通/尾西線 森上駅下車



**見どころ!**  
祖父江町の寺院を巡り、色鮮やかなイチョウをお楽しみ下さい。ゴール付近では黄葉まつりが行われており、様々な銀杏料理をお楽しみいただけます。

大人運賃

名鉄名古屋駅→山崎駅 **540円**  
山崎駅→名鉄名古屋駅 **540円**

プレゼント

稲沢市観光協会、  
祖父江町商工会から  
抽選でプレゼント

稲沢市観光協会会員を募集しています

会費: 法人会員 一口5,000円以上 / 個人会員 一口1,000円以上

平成18年8月7日に稲沢市観光協会を設立してからは5年目を迎えました。会員の皆様方のご理解とご協力によりまして事業も着実に進んでいるところです。

観光協会では5周年を記念して、総会では記念講演を開催し、また11月には美濃路まつりウォーキング大会を名鉄ハイキングに合わせ実施してまいります。その他新しい事業としては「いなッピーバスに乗って観光地を巡ろう」事業を9月に実施しました。他には、地産地消としての料理教室、梅まつり、観光案内など協会独自の事業に取り組むとともに、稲沢市の種々イベントにて稲沢市の観光案内をいたしております。

今後さらに観光都市として、市内外からのお客様のおもてなしをするためには、ハード面はもとより、来訪者に対する情報の提供や市民一人ひとりの暖かな心遣いが必要です。

観光協会の組織基盤の強化を図るために多くの会員を募集いたします。お知り合いなどで未加入のお方がおみえになりましたら、是非会員への勧誘をお願いします。